



2012 年 7 月 吉日

Model 204 お客様各位



データベース・コミュニケーションズ株式会社
メインフレーム・ソリューションセンター

Model 204 V7R4.0 リリースのご案内

謹啓。時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素より Model 204 をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

Model 204 の最新バージョンである Version 7 Release 4.0 のリリースを開始致します。本リリースは、定評のある Model 204 のパワーをさらに強化して、今日の最も厳しいビジネス・ニーズに応えるスケーラブルで、高パフォーマンス、かつ堅固なデータベース・ソリューションを提供するものです。是非この Model 204 の最新リリースのご導入をご検討頂ければ幸いです。DCI および米 Rocket Software および Sirius Software 社は、本リリースへの移行に関して説明会の開催や米技術スタッフの来日など万全のサポート体制をとる準備があります。お気軽に DCI メインフレーム・ソリューションセンターにご相談ください。

Model204 Version 7 Release 4.0 ご利用の利点

- **今日の厳しいビジネス課題に対応する並外れたスケーラビリティと低廉な TCO (総所有コスト) を実現します。**
- **拡張リレーショナル・データモデルやネイティブのユーザ言語を活用した高パフォーマンスのクエリを提供します。**
- **IBM の最新のメインフレーム技術をフルサポートします。**
- **最新のデータ・アクセス技術をビルトインした高パフォーマンスなコネクティビティ・ソリューションを提供します。**

Model204 Version 7 Release 4.0 の特徴

スケーラビリティ

スケーラビリティが、Model 204 製品の最大の特徴です。大規模データベースを支える技術は、ユーザのビジネス・ニーズの増大に対応するように設計されています。とくに Model 204 V7R4.0 では、拡張アドレス・ボリューム(EAV)のサポートを開始し、64K シリンダの境界を超えてファイルを拡張することを可能にしています。

Rocket Software 社は、メインフレーム・プラットフォームの最新技術を活用して、Model 204 の 64 ビット機能を継続して拡大しています。Model 204 V7R4.0 では、FTBL 構造体を 64 ビット対応に拡張し、境界領域バー下のメモリを大幅に削減します。

パフォーマンス

高パフォーマンスと Model 204 は表裏一体の関係をもちます。今回の最新リリースでは、zIIP プロセッサのサポートを開始しており、ユーザ言語コンポーネントをオフロードすることにより、データにさらに迅速にアクセスすることを可能にしています。

また、Model 204 を 1 メガバイトの仮想ページ内で実行することでパフォーマンスを高め、メモリ多消費のアプリケーションをさらに高速に処理することができます。

相互運用性

Model 204 の Horizon 製品で IPv6 サポート機能を利用可能にしています。Model 204 のコネクティビティ・ソリューションは、ユーザの最新のビジネス・ニーズに対応しております。

便益

Model 204 のコネクティビティ・ソリューションおよび IFAM インタフェースで、キャラクタ・ラージ・オブジェクト(CLOB)とバイナリ・ラージ・オブジェクト(BLOB)をサポート開始しています。Connect*製品から、ラージ・オブジェクト(LOB)をもつ Model 204 データベースに簡単にアクセスすることができます。

製品要件

本新製品をご使用いただくためには、次のオペレーティング・システムのいずれかのバージョンが必要です。

- ・IBM z/OS バージョン 1.09 から 1.13
- ・IBM z/VM バージョン 5.3 または 5.4
- ・IBM z/VSE バージョン 4.2 または 4.2.1

敬具

<付属資料> *Model 204 V7R4.0 の主な新機能や改訂機能*

Model 204 V7R4.0 の主な新機能や改訂機能

DCI メインフレーム・ソリューションセンター

1. ユーザ言語

新機能	対象 OS	説明
フィールド値としての式	z/VM, z/OS, z/VSE	更新文に、フィールド値として、式を直接入力することができます。
AUDIT ALL INFORMATION 文	z/VM, z/OS, z/VSE	Model 204 は、レコード全体の出力をオーディットに書き出すことができます。
FIND 文の EQ VALUE 検索条件	z/VM, z/OS, z/VSE	FIND 文で EQ VALUE 句を使って、検索条件に式を使用できます。
FOR RECORD NUMBER 文 で式を指定可能	z/VM, z/OS, z/VSE	FOR RECORD NUMBER 文で、処理対象のレコード番号に式を使用できます。
STORE RECORDTHEN CONTINUE. . . 文	z/VM, z/OS, z/VSE	STORE RECORD ブロック内で THEN CONTINUE 文を使い、この文のから END STORE 文までの間に記述したコードを、あたかも FRN ¥CURREC ブロック内のコードであるように実行することができるので、利便性と効率が向上します。
バイパス論理演算子	z/VM, z/OS, z/VSE	コンパイル済みコードについて、複数個の条件式をもつ IF 文の評価プロセスで、以前の条件式の評価により 2 番目の式の評価をバイパスすることができます。
ECF 文	z/VM, z/OS, z/VSE	外部コール機能 (ECF) 文で、パラメータを最大 40 個まで受け渡すことができます。

2. オペレーティング・システムと周辺装置のサポート

新機能	対象 OS	説明
zIIP サポート	z/OS	Model 204 の一部の処理 (コンポーネント) を、通常のプロセッサから zIIP プロセッサにオフロードすることができます。
EAV サポート	z/OS	64K シリンダ境界を超える拡張アドレス・ボリューム (EAV) 上のファイルを割当て、使用することができます。

3. パフォーマンス拡張

新機能	対象 OS	説明
1 メガバイト仮想ページ	z/OS	境界領域より上のストレージで 1 メガバイト・ページを使用できます。
FTBL と境界領域より上の ストレージ	z/VM, z/OS	FTBL を (境界領域より上の) 64 ビット・ストレージに置くことができます。

4. Model 204 SQL の機能改訂

新機能	対象 OS	説明
ラージ・オブジェクト (CLOB, BLOB) のサポート	z/VM, z/OS, z/VSE	Model 204 SQL エンジンには、キャラクタ・ラージ・オブジェクト (CLOB) とバイナリ・ラージ・オブジェクト (BLOB) を処理できます。 Model 204 V7R4.0 は、Connect* の全バージョンと互換性があります。しかし、V7R1.0 以前のバージョンの Connect* は、CLOB/BLOB データ型をサポートしていません。 Connect* V7R4.0 は、現在サポートされている Model 204 の全リリースと互換性をもちます。

5. コマンドとパラメータ

新機能	対象 OS	説明
DEFINE DATASET と ALLOCATE コマンド用の新引数 (MEMORY と PAGES)によるインメモリ Model 204 ファイルの作成	z/VM, z/OS	一時的なインメモリの Model 204 ファイルを作成できます。これは、CPU オーバヘッドを減らすだけでなく、永久 Model 204 ファイルでのファイル I/O 処理を必要としません。
TEMPBOP パラメータ	z/VM, z/OS, z/VSE	TEMPBOP は、既に開始されたサブトランザクションのバックアウト・ページ用に予約される CCATEMP ページ数を設定します。

6. ユーティリティ

新機能	対象 OS	説明
UTILJ の FILENAME パラメータ	z/VM, z/OS	CCAOUT DD カードが存在する場合、UTILJ 用のパラメータ・リストで “FILENAME=” 引数を指定することができます。

7. Horizon

新機能	対象 OS	説明
IPv6 アドレッシングのサポート	z/OS	インターネット・プロトコル・バージョン 6 (IPv6) のアドレスを処理できます。
CLOSE LINK... ABANDON コマンド	z/VM, z/OS, z/VSE	未処理の VTAM リクエストによりクローズされていないオープン済みリンクを無効にすることができます。
OPEN LINK コマンド	z/VM, z/OS, z/VSE	OPEN LINK コマンドで新たな REPLACE キーワードを使うと、放棄されたリンクを置換したり、関連する REMOTE, SESSIONGROUP, および PROCESSGROUP 定義を引継げることがあります。

8. 内部機能

新機能	対象 OS	説明
IS LIKE パターン検索の最適化	z/VM, z/OS, z/VSE	IS LIKE 処理でパターン最適化を実行できないときに、その旨の情報メッセージをオーディットに出力します。
ジャーナル・ブロックのヘッダー情報の増加	z/VM, z/OS, z/VSE	一日を超える長時間オンラインを継続稼働するために GDG ストリームや SWITCH STREAM コマンドを採用したサイトでは、ジャーナル解析ユーティリティに対して追加のジャーナル情報を必要とします。
フィールド用ジャーナル・エントリの増加	z/VM, z/OS, z/VSE	フィールド用のジャーナル・エントリが 2 バイト増えます。

9. その他の機能

新機能	対象 OS	説明
IFAM 下の DTS ファイル更新	z/VM, z/OS, z/VSE	IFAM アプリケーションで、DTS ファイルを更新することができます。
XDM の ALET 制限の改善	z/VM, z/OS, z/VSE	XDM (クロスメモリ・データ・ムーバ) の ALET を、IBM 制限の 512 までフル使用できるように修正しました。

10. Model204 アドオン製品の新機能

(1) Janus Web Server

新機能	対象 OS	説明
JANUS WEB コマンドに新 HTTP メソッドの追加	z/VM, z/OS, z/VSE	JANUS WEB コマンドで定義する Web ルールを適用するメソッドに OTHER が追加されました。これは、PUT, GET, POST, HEAD 以外の全メソッドを意味します。
¥Web_*_Content 関数に新オプションの追加	z/VM, z/OS, z/VSE	¥Web_File_Content, ¥Web_Input_Content, および ¥Web_Output_Content 関数で、新規の TextUtf8 オプションがサポートされました。

(2) Janus TCP/IP Base

新機能	対象 OS	説明
JANUS TCPLOG コマンドの追加	z/VM, z/OS, z/VSE	特定の Janus ポートのすべての入力および出カストリームをキャプチャーして、シーケンシャル・ファイルに書き出すことができます。
JANUS NAMESEVER コマンドに RETRIES 句の追加	z/VM, z/OS, z/VSE	JANUS NAMESERVER コマンド実行時にターゲットのネームサーバがダウンしていても、指定回数だけリトライできるようになりました。
JANUS LOADXT コマンドに新パラメータの追加	z/VM, z/OS, z/VSE	JANUS LOADXT コマンドに、コード変換方法を指示するパラメータ (UNICODE と DEFAULT) が追加されました。

(3) ユーザ言語コンパイラの拡張

新機能	対象 OS	説明
文字列の区切り文字として二重引用符文字をサポート	z/VM, z/OS, z/VSE	ユーザ言語コンパイラは、引用符付き文字列の区切り文字として、単引用符文字 (') または二重引用符文字 (") を受け付けます。
暗黙の文字列連結	z/VM, z/OS, z/VSE	%変数やリテラルに先行する WITH 演算子を省略した場合でも、文字列連結を行うことができるようになりました。

なお、上記の新／改訂機能の詳細に関しましては、別途 Model 204V7R4.0 リリースノートとして、近日中に配布する予定です。お問い合わせは、DCI メインフレーム・ソリューションセンター (m204_support@database.co.jp)までお願いします。

以上